

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年9月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2017年9月8日～28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 106社
- 回収率 53.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の9月の状況を見ると業況DIは、前月より6.6ポイント悪化の▲4.7となった。

2017年7月以来2ヶ月ぶりにマイナスに転じた。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業の4業種において悪化した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲9.4と当月に比べ4.7ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、製造業、小売業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2017年10月～12月
業況	▲12.8	▲8.1	▲3.7	▲4.9	1.9	▲4.7	▲9.4
売上	▲0.9	1.8	5.6	9.7	4.7	8.5	▲4.7
採算	▲7.3	▲6.3	▲8.3	0.9	▲1.9	▲2.9	▲8.5
仕入単価	▲32.1	▲33.3	▲31.5	▲27.2	▲24.7	▲34.0	▲35.9
従業員	23.0	27.9	25.9	32.1	29.5	35.9	38.7
資金繰り	▲10.1	3.6	▲3.7	1.9	7.6	▲4.8	▲5.7

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2017年10月～12月
建設	0.0	7.4	11.6	19.3	4.0	23.1	7.7
製造	7.7	8.0	▲4.2	4.4	11.5	9.1	0.0
卸売	▲29.2	▲25.0	0.0	▲22.7	▲5.0	▲13.6	▲4.6
小売	▲11.8	▲18.7	▲29.4	▲21.4	▲6.7	▲17.7	▲23.5
サービス	▲35.0	▲21.0	▲5.6	▲16.7	0.0	▲36.8	▲36.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・得意先からの受注が多く、年内はこの傾向が続く見込み（設備その他） ・改修塗替工事が多くあり、社員が不足している（設備その他） ・既存の業態の切り口を変えて、新たなマーケットに向かうようにチャレンジしている（設備その他） ・官民含め商材はあるが、技術者、下請業者、資材等の確保が厳しさを増してきており対応に苦慮している(総合工事) ・人手不足の解消方法を得策思案中。今は我慢するしかない状況（設備その他）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・8月期から業況が好転、持続するでしょう。要因としては、仕入単価の下落、少量・多品種に対応、加工度を高め付加価値の増大、関東方面の出荷が順調、極力残業しない様、取組の構築を図った(食料品) ・百貨店市場の低迷が恒常化し、今季の業績を押し下げている。住宅市場は一定の受注で推移するも、年内に大きく増加はしない。小売に関しては、新店舗が検討している（家具木材） ・売上確保が難しい状況。運賃の値上げ、用紙の値上げがあり、今後採算性の悪化が懸念される。（印刷出版） ・先行見通しは少々不安あり（家具木材） ・冬季需要は十分見込める。雇用したものの、相応しい能力向上の要求に合わず、人材の入れ替りが多い。待遇改善はもとより多能力化を進め、企業と従業員が共に成長できるようあせらず人材の入れ替りに対応したい（金属窯業他） ・最近になり人手不足が深刻、募集をしても効果が表れない。（金属窯業他） ・キャリア採用など若干名の求人を行っているが、適任者の採用が出来ない状況。人員の確保が直面している課題です。（金属窯業他）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般鋼材の動きが悪く、また主力とする重仮設、資材賃貸・施工の発注少なく苦戦している。9・10月の受注は前年対比65%である。(機械鋼材) ・個人消費低迷（その他） ・今月の業況は前年並の業況と思われる(機械鋼材) ・9月に入り石油製品の仕入れ値が上昇しているが、小幅なものと推測され、販売価格も大きな変動はないと考えます（その他） ・現状は売上・利益とも前年比100%で推移している。今のところ悪い要素が、見当らないので現状のまま推移してもらいたい（機械鋼材）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・異常な天候により秋物商品の動きが厳しい。顧客を中心にお客様のTPOに合せ秋物商品を提案し、売上を確保して行きたい（衣服身回品） ・従業員不足が解消されない（その他） ・労務対策の負担が多くなっている(求人コスト増と残業対策)(その他) ・工場増産体制の仕組みづくり(食料品) ・灯油需要期に向い、仕入価格が上昇傾向（その他）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年並みの見込みを立てていたが、昨年よりも国際線が少ない分、外国人客の入込が減少。宿泊部門は3~4%ダウン。料飲も天候不順から苦戦が続き、全体で5%前後の前年割れ。10月以降は前年並~前年微増の予測（ホテル旅館） ・個人消費減少のためか、車輛販売なし。また修理車入庫も減少している(自動車修理) ・旭川関係のホテルは売上減少（理美容クリーニング） ・慢性的な人手不足が続いている。募集の広告代ばかりかかるため、大変困っている（飲食） ・数年前から労働条件等の改善を進めているが、新卒者の雇用には繋がっていない状況（その他） ・賃金の上昇により、売価に反映できる（大手と競合）（飲食）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI30.4 ポイント回復、採算 DI0.2 ポイント悪化、仕入単価 DI2.8 ポイント悪化、資金 DI16.4 ポイント悪化、従業員 DI9.5 ポイント上昇し不足感が高まった。総じて業況 DI は 19.1 ポイント回復となった。業種別では、建築 20 ポイント悪化、総合工事 35 ポイント、設備その他 22 ポイント回復となった。既存の業態の切り口を変えて、新たなマーケットに向かうようにチャレンジしているとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI5.2 ポイント回復、採算 DI2.4 ポイント悪化、仕入単価 DI17.9 ポイント悪化、資金 DI8.4 ポイント悪化、従業員 DI15.8 ポイント上昇し不足感が高まった。総じて業況 DI は 2.4 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 20 ポイント、金属窯業他 3 ポイント回復、印刷出版 10 ポイント、家具木材 25 ポイント悪化となった。最近になり人手不足が深刻、募集をしても効果が表れないとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI14.1 ポイント回復、採算 DI10.5 ポイント回復、仕入単価 DI11.8 ポイント悪化、資金 DI4.6 ポイント悪化、従業員 DI3.2 ポイント上昇し不足感が高まった。総じて業況 DI は 8.6 ポイント悪化となった。業種別では、繊維・衣服等、機械鋼材、その他横ばい、食料品 22 ポイント悪化となった。現状は売上、利益とも前年比 100%で推移している。今のところ悪い要素が見当たらないので現状のまま推移してもらいたいとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI20.0 ポイント回復、採算 DI8.3 ポイント回復、仕入単価 DI22.0 ポイント悪化、資金 DI2.4 ポイント回復、従業員 DI14.5 ポイント上昇し不足感が高まった。総じて業況 DI は 11.0 ポイント悪化となった。業種別では、自動車 40 ポイント回復、衣料品横ばい、食料品 33 ポイント、その他 47 ポイント悪化となった。労務対策の負担が多くなっている(求人コスト増・残業対策)の声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI57.9 ポイント悪化、採算 DI15.8 ポイント悪化、仕入単価 DI5.2 ポイント回復、資金 DI31.6 ポイント悪化、従業員 DI15.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 36.8 ポイント悪化となった。業種別では理美容クリーニング 17 ポイント、飲食 33 ポイント回復、ホテル 33 ポイント、その他 50 ポイント、整備業 75 ポイント、運送業 67 ポイント悪化となった。慢性的な人手不足が続いている。募集の広告代ばかりかかるため、大変困っているとの声も寄せられている。</p>